

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年07月27日

計画の名称	姫路東部新駅周辺地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	姫路市											
計画の目標	~愛着と誇りあるまちの創生~ 新駅を中心とした 潤いある街なか生活空間の形成 安全便利な交通結節点の形成											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,864	A	3,864	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H24末)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	本地区内の世帯数について5年間で1,844世帯から2,000世帯への増加を目指す。 本地区内の世帯数 姫路市の統計調査から算出する。	1844世帯	世帯	2000世帯
2	山陽本線の南側と北側相互間の行き来について162人/peak3hから300人への増加を目指す。 南北通行者数 JR山陽本線の南側と北側相互間を歩き来する徒歩と自転車等2輪による通行者数。(通行量の多い7時から10時までの3時間の通行者の調査実数)	162人/peak3h	人/peak3h	300人/peak3h
3	本地区内におけるまちづくり団体としてのアダプト団体2団体の設立登録を目指す。 アダプト団体数 本地区内の植樹帯や花壇への植花や維持管理を目的とするアダプト団体数。(姫路市へ登録された団体数)	0団体	団体	2団体

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	姫路東部新駅周辺地区都市再生整備計画事業	A=140ha	姫路市						3,864		-
		旧要素事業番号:A-1																	
											小計						3,864		
											合計						3,864		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	170	227	433	644	14
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	170	227	433	644	14
前年度からの繰越額 (d)	0	32	105	129	201
支払済額 (e)	138	154	409	572	215
翌年度繰越額 (f)	32	105	129	201	0
うち未契約繰越額(g)	8	64	25	74	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.7	24.71	4.64	9.57	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		工事・物件移転交渉について、不測の事態が生じ契約締結できなかったため			

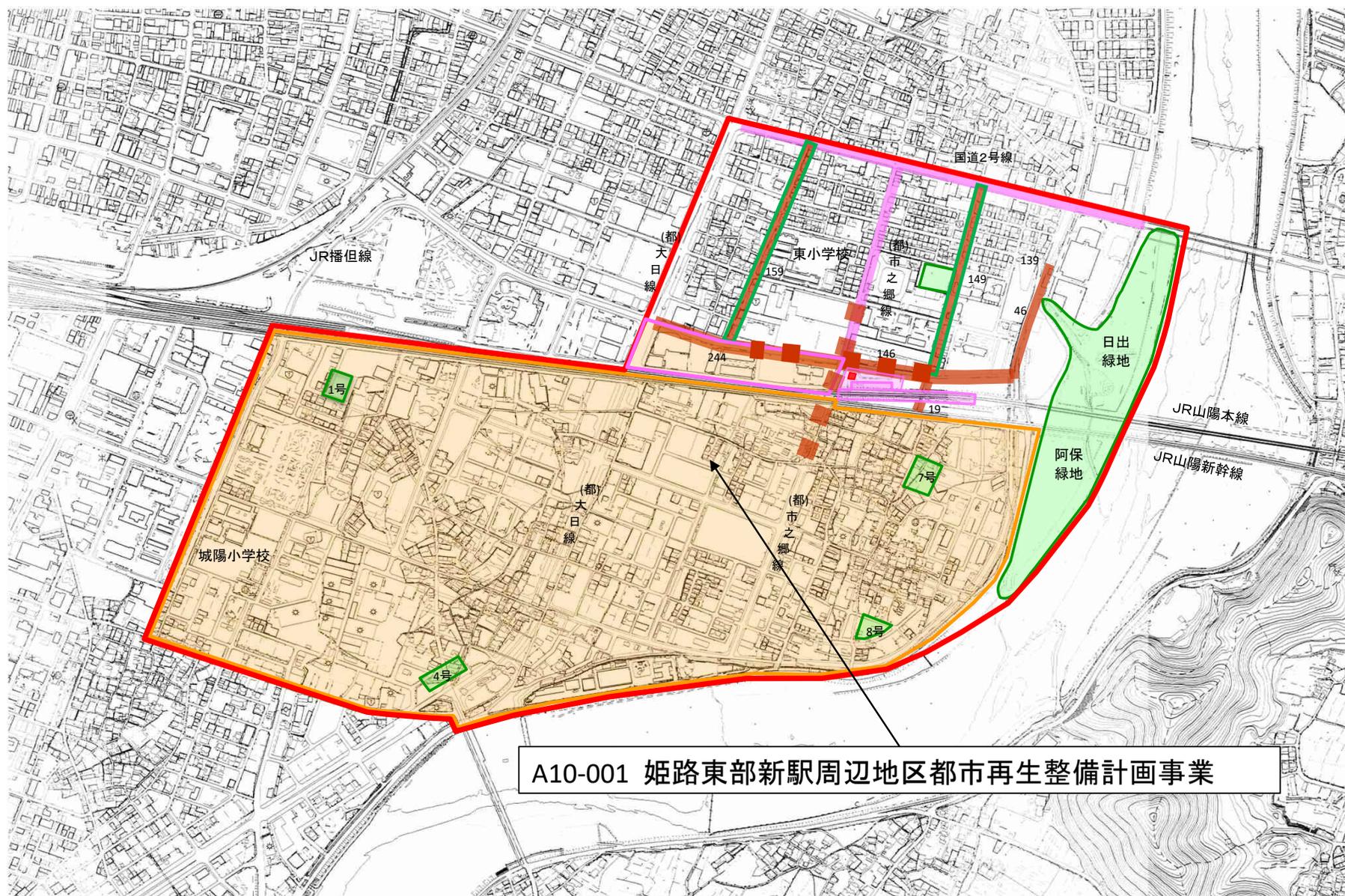
事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路東部新駅周辺地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

(参考図面)

計画の名称	姫路東部新駅周辺地区都市再生整備計画	交付対象	姫路市
計画の期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度 (5年間)		



A10-001 姫路東部新駅周辺地区都市再生整備計画事業